

## 福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（12月分）

留学先大学：貿易大学

氏名：遠藤優海

Xin Chao! こんにちは、ついにハノイも冬と呼べそうな季節となり、寒いときは気温が10度前後まで下がるようになりました。急激に寒くなったので体感温度的にはもう少し寒く感じます。夏が長いハノイの建物には暖房がついていないことが多いので、コートは必須です。私も我慢できずにダウンを購入しました…。教育施設にも暖房がないことが多いので気温が10度を下回ると小中学校は休校になるそうです。少しうらやましいですね（笑）さて今月は大学の秋セメスターが終わり、私の留學生活の半分が終了しました。今までは大学やハノイの生活を紹介してきましたが、今回は一つの節目ということで、この5か月間で私が率直に感じたことや考えたことを書きたいと思います。最後にクリスマスパーティーやハノイの年越しイベントにも行ってきたのでそれについても紹介したいと思います。

### 【留學生活5か月を終えて】

一番率直な感想は、皆さんそう思うと思うのですが「あっという間」だったということでしょうか。気づいたらもう5か月が経っていました。ただ、私自身はあまりポジティブなあっという間ではないような気がしています。なんとなく流れに乗って惰性的に過ごしてしまった部分が多いと思います。これは私が一番言いたいことと関係しているのですが、自分がやりたかったことがほとんどできていなかった、というよりも、やらなかったの意味合いが強いです。この原因は私の性格はもちろん、良くも悪くも留學に対する憧れが強すぎたからだと思います。

まず、私がなぜベトナムという国と貿易大学を留學先として選んだのかというと、国際協力や途上国への支援に興味があったからです。行きたかったカンボジアの大学は交換留學の募集がなかったので諦め、現在経済成長が著しく都市開発が進むベトナムに行くことで、新興国と発展途上国の間を見ることができかなと思いました。それから国際開発分野に進む上で、経済やビジネス、マネジメントの基礎知識はベースとして必要だと思い、この分野の専門大学である貿易大学を選びました。この時点ですでに、ベトナムのこの大学に行けば目標に近づけるという期待値がかなり高かったです。それに加えて、私は学部の留學条件であるTOEFL530点を達成するまでに他の人よりも時間がかかりました。本来だったら3年生の前期から留學したかったのですがぎりぎりまで点数が取れず、その期間分さらに期待値と憧れが強かったです。でも実際に留學が始まり生活に慣れてくると、理想と現実とずれがあることに気づきました。

一番のがっかりポイントは大学での授業内容と授業スタイル、学生の勉強に対する意欲です。貿易大学の授業は基本的に先生がPPTを使って説明していく受身の授業です。一つの授業の生徒数が30~50人程なので、生徒が発言しても先生とその生徒の1対1の授業のようになってしまいます。毎回淡々と授業が進んでいくので正直予習は必要ありません。予習しても生かす場が特にないのです。福井大学の授業と比べてもしょうがないとは思いますが、私が福大で受けていた授業はしっかり予習をするからこそ、授業に出る価値があり、自分の意見を発する場も他の学生の意見を聞く場もあり、その場

で成果がわかるものでした。自分で言うのも微妙ですが、3年前期は午前中に授業がなくても最低でも9時には図書館に行き、帰りは22時くらいまで自習室で勉強するくらいでやっと予習が間に合うという生活でした。これと比べるとどうしても貿易大学での授業に対するモチベーションが上がりませんでした。自分で予習して満足できるようなタイプだったいいのですが、根本的にめんどくさがりで怠け者なので、何か強迫観念がないとうまくできません（笑）また、学生の意欲についても触れましたが、貿易大学の学生は優秀です。優秀ですが、テストではカンニングが当たり前です（学年とクラスで程度は変わります）。試験監督も厳しく注意する方がめずらしいくらいです。初めてこの光景を見た時に驚き以上に本当にあきれてしまいました。必死に勉強して入った有名大学なのに、入ってしまえばこれでいいのかと思うとがっかりでした。

色々書きましたが結局は周りの環境や他人のせいにして、自分を正当化していることが良くないことはわかっています。レベルの高い、質の良い授業を受けたければ自分がしっかり予習復習をして、満足のいく内容にすればいいのです。何をしにきたのかをもう一度考え直して残り半分の貴重な時間を価値のあるものにできるよう頑張りたいと思います。自分を律することが一番難しいですね。

#### 【クリスマス・年越し】

完全に期末試験の期間でしたが、韓国からの留学生とクリスマスパーティーをしました。誘われたときは行くか悩みましたが、今しかできないことだと思い参加しました。せっかく仲良くなったのですが、ほとんどの学生が留学を終えて帰国してしまうのでかなり寂しくなります。クリスマスパーティーはAirbnbでアパートを一つ貸切にして料理やケーキを作って楽しみました。日本ではアパートを貸切にしてパーティーはなかなかできないことなので新鮮な体験でした。騒ぐだけでなく、留学を終えてからのことや就活の話など真面目なことまで話すことができるような友達にハノイで知り合え、仲良くなれて本当によかったです。

そして、ベトナムの正月は2月のテトがメインなので、日本のような年末に向けての忙しい師走感はあまりありませんでした。それでも12月31日は田舎に帰る人が多いようでいつもの喧騒としたバイクや車、人の行き来が少なくハノイにしては静かな一日でした。ハノイの中心部であるホアンキエム湖周辺では複数のカウントダウンイベントがやっているようだったので23時くらいに向かいましたが、湖の周りは交通規制が敷かれ、歩いて進むのも立ち止まるのも困難なほど多くの人であふれかえっていました。ベトナムの有名歌手や芸能人が出演していたようで、かなりの盛り上がりでした。ベトナム人はとにかくイベントが好きなのでたくさんの方が集まります。日本ではこのように盛り上がるようなカウントダウンイベントに参加することはなかったのもとても楽しい経験でした。



クリスマスパーティー



ノンで作られたツリー  
(ノンはベトナムの伝統的な笠帽子です)



カウントダウン  
イベント